

2. 事業の概要と成果	
(1) プロジェクト目標の達成度	<p>ビントゥアン省、アンザン省でインクルーシブ教育研修システムが構築され、他省のモデルとなっている。ビントゥアン省、アンザン省の障害ある児童の就学率が増加する。</p>
(2) 事業内容	<p>1. <u>キーティチャーの育成（各地区の指導者研修）を計画通り実施した。</u></p> <p><u>ビントゥアン省、アンザン省のキーティチャーに対するインクルーシブ教育研修</u></p> <p>当会が結成したホーチミン市障害児教育専門家チーム（日本人3名を含む）が、ビントゥアン省30名、アンザン省30名 合計60名のキーティチャーに対して、インクルーシブ教育研修を実施した。</p> <p>場所：アンザン省ロンスエン市 特別学校</p> <p>初等教育 40名 < 7月2日（月） - 7月13日（金） ></p> <p>幼児教育 20名 < 7月2日（月） - 7月13日（金） ></p> <p>① 7月10日、日本でインクルーシブ小学校の先駆的な成功事例である大空小学校のビデオ「みんなの学校」を上映した。7月11日 午前 映画に登場する大空小学校の木村泰子先生が講演をした。午後、ビントゥアン省、アンザン省のキーティチャー代表6名と木村先生、塚根先生がパネラーとなり、パネルディスカッションを実施。7月12日は、2つのクラスに分かれて、木村先生、塚根先生に直接質問しやすい場を設けた。通訳は、ベトナム在住の日本の大学で博士号を取得した Vu Thi Hong Minh 氏が同時通訳を務めた。</p> <p><キーティチャーの木村先生、塚根先生の研修の感想></p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 大空小学校は先生方が自由に木村校長に質問ができる信頼関係がある雰囲気感動した。 ➢ 塚根先生は現場の先生の経験が長く、生徒といつも一緒に、生徒の意見を聞いて、生徒のレベルに合わせて生徒を励ましている。だから生徒はとても幸せに学習できる。 ➢ 木村先生の研修は、質疑応答が多くて、非常に実践的だった。木村先生や、大空小学校の先生方は、児童が自分で間違った振るまいを理解して反省する十分な時間を、その児童に与える。 ➢ 大空小学校の児童は、障害ある児童と一緒に遊んだり、障害ある児童の話を良く聞き、良く助けている。 ➢ 大空小学校の修学旅行は素晴らしい。障害ある児童は、学校外で多くを学び、いろいろな経験を積んだ。 ➢ 校長と教師と学校の関係者が、自身の考え方を変える事により、インクルーシブ教育は成功する事を学んだ。 ➢ 大空小学校の木村先生と塚根先生との交流ができ、良かった。

(ここでページを区切ってください)

<キーティチャーの 2 週間研修全般の感想>

- インクルーシブ教育について、自分の偏見がわかるようになった。
- クラス運営（参加者が一緒に活動して、考えて、発表するなど）が良かった。
- インクルーシブ教育の管理面の改革方法が理解できた。
- IEP（個別教育計画書）の作成方法が分かるようになった。
- Kim Hoa 先生の授業から、児童の問題行動の解決方法をよく勉強した。
- 2 省のインクルーシブ教育の問題や課題が共用できた。

2. 各小学校の校内指導教師研修を計画通り実施した。

当会が結成したインクルーシブ教育専門家チームが、ビントゥアン省とアンザン省で、それぞれ 200 名（各小学校 1 名～3 名）を対象にしたインクルーシブ教育研修を、それぞれ 1 回 3 日間、3 回実施した。

ビントゥアン省インクルーシブ教育初等教育 A 参加者 85 名

<10 月 15 日（月）～10 月 17 日（水）>

ビントゥアン省インクルーシブ教育初等教育 B 参加者 77 名

<10 月 16 日（火）～10 月 18 日（木）>

ビントゥアン省インクルーシブ教育幼児教育 参加者 29 名

<10 月 17 日（水）～10 月 19 日（金）>

合計 191 名

アンザン省インクルーシブ教育初等教育 A 参加者 64 名

<10 月 29 日（月）～10 月 31 日（水）>

アンザン省インクルーシブ教育初等教育 B 参加者 65 名

<10 月 30 日（火）～11 月 1 日（木）>

アンザン省インクルーシブ教育幼児教育 参加者 70 名

<10 月 31 日（水）～11 月 2 日（金）>

合計 199 名

<3 日間研修後の各小学校の感想>

* 先生方が研修を受けてから、この地区の小学校のインクルーシブ教育は、大変進歩している。昨年は、IEP（個別教育計画書）の作成は曖昧だったが、今年、参加者は上手に IEP を作成している。各小学校からの報告は、聴覚障害の児童に対して、先生は、距離を考えて話すようになった。視覚障害の児童に対して、先生は、机からドアまで何歩あるか、ドアからトイレまで何歩あるか児童に教えるようになった。多動性の児童に対して、以前は、児童が問題な行動をすると、先生は、ただ児童を叱ってばかりいたが、研修後は、どうやったら行動問題が収まるか考えながら対応している。先生は、行動問題に対して寛容になった。

	<p>3. <u>各地区の地区内研修</u> (ビントゥアン省教育局、アンザン省教育局の費用負担) * 別添 1～別添 8 に詳細</p> <p>ビントゥアン省とアンザン省の各 30 名キーティチャー対象の夏の 2 週間研修後、ビントゥアン省全 10 地区は、8 月末から 11 月末の期間に、地区研修を実施した。期間は 2 日間から 3 日間、テキストは夏のキーティチャー研修で利用した当団体のテキストや「みんなの学校」の DVD (ベトナム語の文字入り) を各キーティチャーが再編して使用した。</p> <p>アンザン省全 11 地区は、8 月末から 11 月末の期間に研修を実施した。講師は各地区のキーティチャー、期間は 2 日間から 3 日間、テキストは夏のキーティチャー研修で利用した当団体のテキストや「みんなの学校」の DVD (ベトナム語の文字入り) を各キーティチャーが再編して使用した。</p> <p>4. <u>各小学校の校内研修</u> (ビントゥアン省教育局、アンザン省教育局の費用負担) * 別添 1～別添 8 に詳細</p> <p>ビントゥアン省とアンザン省の全小学校では、地区研修に参加した教師が自身の小学校に戻り、小学校内研修を実施した。これにより、2 省の全教師がインクルーシブ教育の研修を受ける事ができた。</p>
(3) 達成された成果	<p>< ビントゥアン省 > 別添 2～別添 4 に詳細</p> <p><u>A. 児童の就学率</u></p> <p>* 以下は 2019 年 3 月にビントゥアン省教育局から提出された最新のデータ</p> <p><u>事業実施前</u> 2016 - 2017 学齢期における障害ある児童の数 : 936 人 特別学校に通う児童の数 : 4 人 近隣の小学校に通う障害ある児童の数 : 632 人 障害ある児童の就学率 : 68% 研修を受けた教師の数 : 92 人</p> <p><u>事業実施後</u> 2017 - 2018 学齢期における障害ある児童の数 : 763 人 特別学校に通う児童の数 : 4 人 近隣の小学校に通う障害ある児童の数 : 632 人 障害ある児童の就学率 : 83% 研修を受けた教師の数 : 528 人</p> <p><u>事業実施後</u> 2018 - 2019 学齢期における障害ある児童の数 : 852 人 特別学校に通う児童の数 : 3 人 近隣の小学校に通う障害ある児童の数 : 724 人 障害ある児童の就学率 : 85% 研修を受けた教師の数 : 1000 人</p>

障害ある児童の学習の成果

- * 研修後、先生方は障害ある児童に対して、児童が嫌がる事を無理強いしなくなった。そのお陰で、障害ある児童は先生が大好きになった。
- * 研修後、先生方は、障害ある児童の能力に合わせて教えるようになったので、児童はイキイキしている。テストも児童の能力に合わせたテストなので、点数も取れて嬉しい様子である。今、先生は、児童を褒めるので、児童は大変嬉しそうである。
- * 研修前、クラスに障害ある児童がいても、特別な対応をしていなかった。今、先生方は、障害ある児童の特徴を理解して、その児童に合った学習プログラムを提供している。

B. インクルーシブ教育研修システムの構築の進捗

Binh Thuan 省 7 地区、各地区のインクルーシブ教育研修システムの構築の進捗を表に示した。左側の 10 から 1 までの項目は、各地区のインクルーシブ教育における取り組みの具体的内容である。右側の青の矢印は、各地区別 左側の 10 から 1 までの項目に沿った進捗度を示している。青い矢印が項目 10 から項目 1 に向かうほど、達成度が高い。地区により達成度が違うのは、各地区の教育室や人民委員会のインクルーシブ教育への介入の違いによるところが大きい。

Binh Thuan 省インクルーシブ教育研修システムの構築の達成度 2018年12月	
1. インクルーシブクラスに補助教員がいて、クラス内または、外で個別授業を実施している。	
2. クラス内に障害ある児童を支援する同級生の支援体制がある。	
3. 地区の保健室、福祉室、女性団体など連携してインクルージョン教育が進められている。	
4. 小学校内に、インクルージョン教育のリソースチームがいる。	Duc Linh
5. 地区内で必要時に研修が実施できている。	Tanh Linh
6. 各小学校で必要時に研修ができている。	Ham Thuan Bac
7. 教師と障害ある児童の両親の定期的な会合がもたれている。	Ham Thuan Nam
8. 地区の教育室、小学校の校長、副校長、教師が協力的。	Bac Binh
9. 障害ある児童を受け入れた教師の半数は、研修を受けている。	La Gi
10. インクルージョンクラス担当の教師はIEPを作成している。	Phan Thiet

ビントゥアン省 7 地区

(ビントゥアン省は、全 10 地区であるが、2018 年アジア・レインボーのモニタリングは、7 地区で実施された。地区が島で遠い等の理由で 3 地区は実施されなかった。2019 年度のモニタリングは、全 10 地区で実施する予定である。)

< アンザン省 > 別添 5～別添 7 に詳細

A. 児童の就学率

* 以下は 2018 年 3 月にアンザン省教育局から提出された最新のデータ

事業実施前

2016 - 2017

学齢期における障害ある児童の数 : 1,061 人

特別学校に通う児童の数 : 7 人

近隣の小学校に通う児童の数 : 392 人

障害ある児童の就学率 : 38%

研修を受けた教師の数 : 31 人

事業実施後

2017 - 2018

学齢期における障害ある児童の数 : 792 人

特別学校に通う児童の数 : 174 人

近隣の小学校に通う児童の数 : 434 人

障害ある児童の就学率 : 78%

研修を受けた教師の数 : 311 人

事業実施後

2018 - 2019

学齢期における障害ある児童の数 : 662 人

(人数が減った理由は、診断書がある児童の人数にしたから)

特別学校に通う児童の数 : 150 人

近隣の小学校に通う児童の数 : 357 人

障害ある児童の就学率 : 77%

研修を受けた教師の数 : 900 人

障害ある児童の学習の成果

- * 研修後、先生方は、個別教育計画書 (IEP) を作成して教えているお陰で、障害ある児童はリラックスして学習しているし、友達もできた。以前、障害ある児童は 3 年間も留年したが、今は、IEP に沿って進級するので、皆進級している。
- * 研修後、先生方は、障害ある児童への思いやりが強くなり、教え方も、児童の能力に合わせて易しくなった。
- * 研修前、先生方は障害ある児童をクラスの隅に座らせておくだけであったが、研修後、障害ある児童に関心をもって、易しい学習を提供している。
- * 研修前、障害ある児童は先生方を怖がっていたが、今は、児童は自信をもって先生と会話している。同級生とも友達になり、学習も進歩している。
- * 研修前、多動性の児童はクラス内でブラブラしていたが、今は、先生が優しい言葉をかけるようになったので、児童も授業を受けるようになった。
- * 事業実施前、地区内では障害ある児童の差別や偏見があった。事業後、徐々に差別や偏見は克服されている。

B. インクルーシブ教育研修システムの構築の進捗



アンザン省 11 地区

(4) 持続発展性

ビントゥアン省とアンザン省では、2週間研修後、研修に参加した各地区3名のキーティチャー（合計30名のキーティチャー）が、自身の地区で地区研修を実施し、全地区で地区研修は実施された。その後、地区研修に参加した各小学校2名の代表参加者は、自身の小学校で小学校研修を実施し、全小学校で研修が実施された。これにより省内の全教師が研修を受けられた。また、各省の半数の地区では、地区内にインクルーシブ教育チームを作り、チームは、地区内の小学校を廻り、各小学校のインクルーシブ教育の支援をしている。支援内容は、IEP（個別教育計画書）の作成支援、教育プランの作成支援、教師の問題への助言等である。チームは、地区の教育室の職員と地区内のキーティチャーによって結成されている。このインクルーシブ教育チームの活動により、各小学校のインクルーシブ教育は向上している。

アンザン省では、2018年9月から、11地区の内10地区では、クラスに診断書がある障害ある児童を受け入れた教師に特別手当が支給されるようになった。これにより、教師のインクルーシブ教育のモチベーションは大変向上し、特別手当によりアンザン省のインクルーシブ教育の持続発展性は、非常に安定した。また、アンザン省では、2018年9月から、障害ある児童に診断書があると、児童には人民委員会から奨学金が毎月支給されるようになった。これにより、持続発展性は、より安定した。

ビントゥアン省では、まだ、インクルーシブ教育の教師への特別手当は実施されていない。しかし、現場からの強い要望や、他省（アンザン省、ドンナイ省）による特別手当の実施例から、ビントゥアン省は、現在検討中である。教師への特別手当が実施されると、持続発展性は大きく安定する。ビントゥアン省では、障害ある児童への奨学金は、すでに支給されている。

